主な行事

多彩な活動、かけがえのない日々

April

- ●始業式
- ●入学式 ●新入生オリエンテーション
- ●生徒総会





May

- ●明治37年(1904)5月2日開校
- ●中央支部総体
- ●校門指導
- ●中間考査



June

- ●全県総体
- ●運動会
- ●生徒会役員選挙





July

●期末考査



August

●校内体育大会



September

- ●2年インターンシップ
- ●就職・進学面接強化期間 ●進路達成激励会
- ●体験入学



October

- ●中間考査
- ●秋工祭
- ●ラグビー全国大会予選
- ●駅伝全国大会予選





●2年修学旅行

November

11月

- ●期末考査



- ●進路体験発表会
 - ●校内課題研究発表会

February

●就職ガイダンス・企業説明会



March

January

- ●卒業式
- ●同窓会入会式
- ●学年末考査



部

目指せ全国優勝!輝く秋工!!

- ラグビーフットボール■ 陸上競技
- バスケットボール
- バレーボール
- テニス ■ ソフトテニス
- バドミントン ■ 剣道
- 柔道
- 空手道 ■ サッカー
- 卓球 ■ 硬式野球
- 軟式野球
- 体操 ■ 水泳













陸上競技・体操・柔道・空手道・ ラグビー・バドミントン・バスケットボール



- 文芸
- 写真 ■ パソコン
- レーシング ■ メカクラブ
- 秋工植物栽培フ ■ 秋工竿燈会













第50回マーチングバンド全国大会 銅賞

ものづくりコンテスト 東北大会出場

Ene-1GP MOTEGI大会第3位



〒010-0902 秋田市保戸野金砂町3番1号

TEL.018-823-7326 FAX.018-823-7328 ● Home Page Address http://www.akiko-h.akita-pref.ed.jp 令和5年度

校訓「質実剛健」

本校は明治37年、工業技術者の養成を目的に創立されました。 以来、校訓「質実剛健」の下、歴史と伝統を築き、今日に至っています。 この間3万余名が卒業し、地元はもとより全国各地で産業界のリーダーとして 活躍しています。

進路希望に合わせた教育カリキュラム

募集定員は、機械科70名、電気エネルギー科、土木科、建築科、工業化学科 各35名です。

2年次からは、技術者として就職したい生徒と、進学してより高度な技術を学 びたい生徒のために、進路希望に応じた選択科目を用意しています。

■3年間の履修教科・科目一覧 |

令和6年度入学生

		学		科	機	械	科	電気	エネ	ルキ	一科				建	築	科	I	業	化学	科
		教	科	名								科	· -	名							
	普	国		語							現代の			な化・文							
	通	地		歴								地理絲		E 史総合							
	教	W 11 - W 11 -																			
型 数 学 数学 I · 和学 I · 和																					
201		理		科		科学と人間生活・物理基礎・生物基礎															
修	全		健体			体育・保健															
∓ 31	科 芸 術 A 芸 A A A A A A B A B A B B B </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>																				
14	共通	外	国	語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ																
目	家庭基礎																				
*	情報 I (代替)																				
* 1	専								I	業技	術基礎	・課題	題研究	・実習・	工業情報	報数理					
	門				製		図	製			図	製		図	製	^ ^ 1≢	図				
	教	工		業		械	1	· 衣		技		測十	木 邡	量		築 構築 計		I	業	化	学
							2 計	電			路	土	木基盤	力学	建築	₹構造	設計	_	<i>></i> 1<		•
	科											土	木構造	設計	建	築法	規				
選	普洛	数		学								数学	A・数	学特講							
	普通教科	外	国	語							Ī	論理表	現I・	英語特調							
択	科	理		科								物理	里・生物	物特講							
科	専														製		図				d Dec
目	門				生	産払	支 術	電	気	機	器	製土	₩	図 : =ハ =±		築構		生化		技工	術
	教	工		業		械二		電		技	術		木構造 会基盤		建筑	模構造	設計	化 生		工 化	学 学
% 2	科				原	動	機	電	気	回	路		太圣监木基盤			築施		_		ιᇈ ▋境ᅦ	_
_	17-1														建	築計	- 画		-31-21	. 70 11	

- ※1 「必修科目」は1~3年次で学びます。
- ※2 「選択科目」は2・3年次で学びます。就職希望者はそれぞれの科の専門教科を、進学希望者は普通教科(数学・外国語・理科)を選択します。

国際舞台で活躍する技術者を育てる

産業構造の変化に対応するため、学科の学習内容も基礎的・基本的な学習内容を重視するとともに、技術の進歩に対応した新しい実習装置を導入し、将来につ ながる内容を学習できるようにしています。このような先進的な取組による学習の成果は、「課題研究」という科目での研究発表や、「産業教育フェア」「工業ク ラブーでの研究発表、展示会等で学校内外に紹介されています。

ものづくりに関する加工や工作法、工作機械、材料、エネルギーの発生 と変換などについて学習します。また、旋盤やフライス盤、電子制御を 加えたNC工作機械などや複雑な設計・解析ができる3DCADなどの実 習をすることにより、機械分野に関する知識や技術・技能を身に付け、 自ら製品を形にできる人材を育成します。

【取得可能な資格】

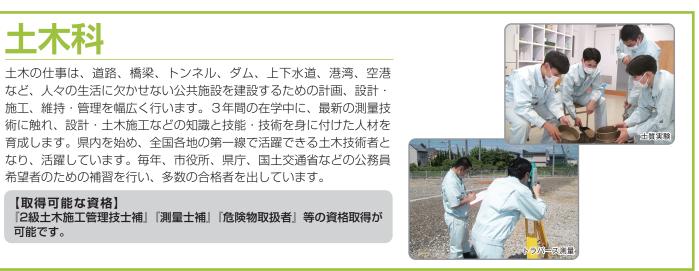
『技能士(普通施盤・フライス盤・平面研削盤・NC旋盤・マシニングセンタ・ 機械組立・機械保全・機械検査・金属熱処理) 2・3級』「2級ボイラー技士」



【取得可能な資格】

『2級土木施工管理技士補』『測量士補』『危険物取扱者』等の資格取得が

希望者のための補習を行い、多数の合格者を出しています。



電気エネルギー科

電気は、エネルギー・情報を伝えるものとして、日常生活から産業社会に いたるあらゆる分野で利用されています。電気エネルギー科では、電気の 発生から、送電・配電、さまざまな形での運用(電気機器、通信、コン ピュータによる自動制御、デジタル回路、プログラム言語など)について 学ぶほか、新エネルギーや環境問題についても学習します。これらの専門 知識を身に付け、電気関連事業やコンピュータ関連事業のほか、新エネル ギー及び環境関連事業などの分野で活躍できる人材を育成します。

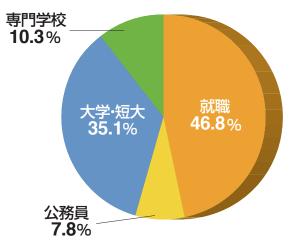
■就職·進学状況

『第一種、第二種電気工事士』『第三種電気主任技術者』「2級電気工事施 工管理技士補』『ITパスポート』等の資格取得が可能です。

『第二種電気工事士』は卒業後、技能試験のみで取得できます。『第三種 電気主任技術者』と『2級電気工事施工管理技士(管理技士補取得者)』 は一定期間の実務経験を経て資格を取得できます。

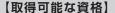


令和5年3月卒業



	京	犹 耶	韱	進 学				
	県内	県外	公務員	国公立	私大	短大	専門学校等	
機械	15	15	4	7	20	2	6	
電気	6	8	2	2	13	0	1	
土木	13	6	8	1	7	0	0	
建築	11	2	1	1	10	1	9	
工業化学	15	5	1	3	5	0	5	
合 計	60	36	16	14	55	3	21	

建築は、社会と密接に関係して生活を豊かにする分野であり、その考え 方や構造・デザイン・設備・工事方法の基礎的・基本的な学習をします。さ らに、CAD等のコンピュータを使った実習を通して、情報化社会に対 応した専門の学習もします。そして、次世代の建築各分野で社会に貢献 し、活躍できる素養を身に付けた人材を育成します。県建築設計作品コ ンクール最優秀賞、秋田の住宅コンクール高校生の部・最優秀賞、県立 大学建築提案コンテスト優秀賞、ものづくりコンテスト1位などで県内 トップクラスの実績があり、就職・進学の多様な進路選択ができます。



『2級建築施工管理技士補』『初級CAD検定』『建築CAD検定』『技能士 (建築大工)3級」 『品質管理検定』 『福祉住環境コーディネーター検定』



工業化学科

生活に便利な自動車や携帯電話をつくるためには多くの部品が必要で す。その部品の多くは化学合成された物質からつくられます。古い素 材のリサイクルや地球環境の保全にも、やはり化学技術が必要です。 工業化学科では、化学製品の製造や新素材の合成法、バイオテクノロ ジーや化学分析技術を学び、将来、化学技術者として、社会に貢献で きる人材を育成します。

『危険物取扱者』 『2級ボイラー技士』 『公害防止管理者』 などの国家資格 取得が可能です。危険物取扱者は、危険物の取扱いと保安の監督ができ ます。さらに卒業すると、「毒劇物取扱者」の申請資格が得られます。

